

31 | トラブル シューティング

この章では、GP-Pro EX の「トラブルシューティング」について説明します。

31.1	GP-Pro EX が起動しない.....	31-2
31.2	画面が編集できない.....	31-2
31.3	画面が保存できない.....	31-3
31.4	パソコンと GP との通信ができない.....	31-3
31.5	プリンタが動作しない ハードコピーが正常に印字されない.....	31-3
31.6	アドレスが入力できない.....	31-3
31.7	ブザー音が鳴る	31-4
31.8	タッチが効かない	31-4
31.9	画面が真っ暗 何も表示しない.....	31-5
31.10	部品が表示されない.....	31-5
31.11	PLC と通信しない.....	31-6

31.1 GP-Pro EX が起動しない

原因	処理方法	参照
パソコン全体のメモリ容量が不足している可能性があります。 最低動作環境としてメモリは256MB バイト以上を推奨しています。	【Windows2000】 Windows の [スタート] ボタン → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] ボタン → [詳細] → [変更] ボタンの順にクリックしてください。“初期サイズ”、“最大サイズ”を共に“すべてのドライブの総ページングファイルサイズ”の推奨値へ変更します。パソコンを再起動してから GP-Pro EX を起動してください。 【Windows XP】 Windows の [スタート] ボタン → [設定]、[コントロールパネル]、[システム] ボタン → [詳細設定] → [設定] ボタン → [詳細設定] → [変更] ボタンの順にクリックしてください。“初期サイズ”、“最大サイズ”を共に“すべてのドライブの総ページングファイルサイズ”の推奨値へ変更します。パソコンを再起動してから GP-Pro EX を起動してください。	☞「3.2.1 GP-Pro EX に必要な動作環境」(3-4 ページ)
GP-Pro EX と相性の悪いアプリケーションがあり、それが原因で起動できない可能性があります。	全てのアプリケーションを終了し、Windows の [スタート] ボタンから [プログラム][スタートアップ] にて問題のアプリケーションのショートカットを削除します。 パソコンを再起動してから GP-Pro EX を起動してください。	—
記憶メディアの容量が不足している可能性があります。	Windows のマイコンピュータをダブルクリックし、GP-Pro EX がインストールされているドライブをクリックし、[ファイル (F)] の [プロパティ (R)] でメディアの空き容量を確認してください。容量が充分になれば、ごみ箱を空にするか、メディア上から不要ファイルを削除してください。	☞「3.2.1 GP-Pro EX に必要な動作環境」(3-4 ページ)

31.2 画面が編集できない

原因	処理方法	参照
プロジェクトファイルの新規作成を行っていますか？ GP-Pro EX ではプロジェクトファイルを作成していただいてからでないとは作図できません。	メニュー [プロジェクト] から [新規作成] を選択してウィンドウメッセージ通りにお進みください。	☞「6.2.2 設定手順」(6-7 ページ)

31.3 画面が保存できない

原因	処理方法	参照
保存対象の記憶メディアが書き込み禁止になっていませんか？	メディアのライトプロテクトが書き込み禁止か、ファイルのプロパティで書き込み禁止になっていないか確認してください。	—
ファイルが読み取り専用属性になっていませんか（既存ファイルの編集）？	ファイルを右クリックから「プロパティ」で“属性”の読み取り専用にチェックがはいっていないか確認してください。	—
保存メディアの残り容量が不足していませんか？	残り容量が充分にあるメディアを用意してください。	—

31.4 パソコンと GP との通信ができない

原因	処理方法	参照
転送ケーブルが外れているか、またはケーブルが対応していない可能性があります。	【USB】 (株) デジタル製転送ケーブル（別売）をご使用ください。 ドライバをインストールしてください。 【LAN】 設定している IP アドレスが他で使われていないか確認してください。 LAN ケーブルの種類を確認してください（ストレート / クロス）。	 「27.3.2 転送手順」(27-12 ページ)
GP から受信時、保存メディアの容量が不足していませんか？	残り容量が十分にあるメディアを用意してください。	—

31.5 プリンタが動作しない ハードコピーが正常に印字されない

原因	処理方法	参照
Windows でのプリンタ設定は正しいですか？ またドライバは正しくインストールされていますか？	コントロールパネルのプリンタのプロパティで設定を確認してください。	—

31.6 アドレスが入力できない

原因	処理方法	参照
「入力した文字列をシンボルとして登録しますか？」というウィンドウが表示されていませんか？表示されている場合、GP-Pro EX が規定している入力書式以外で入力を行っています。	[システム設定]→[接続機器設定]にて接続機器が入力するアドレスに対応しているか確認し、もう一度キーパットにて入力作業を行ってください。	 「6.13.6 ■ [周辺機器一覧] の設定ガイド」(6-112 ページ)

次のページに続きます。

原因	処理方法	参照
キーパットの [ENT] キーがきかない場合、アドレス入力を半角英数字以外の文字あるいはデバイス範囲外のアドレスを入力しようとしています。	[システム設定]→[接続機器設定]にて接続機器が入力するアドレスに対応しているか確認し、デバイス範囲内の値を半角英数字にて入力してください。	☞「6.13.6 ■ [周辺機器一覧] の設定ガイド」(6-112 ページ)

31.7 ブザー音が鳴る

原因	処理方法	参照
GP のシステムデータエリア内のブザー出力ビットが ON している可能性があります。	PLC との通信ケーブルを抜き、GP 本体の電源を ON/OFF します。それによりシステムデータエリア内の値がリセットされ、ブザー出力も OFF することができます。 PLC との通信ケーブルを抜くことができない場合は、システムデータエリアのブザー出力ビット (PLC 接続時は +14 の 01 ビット目、メモリリンク時はアドレス 11 の 01 ビット目) を PLC 側から OFF してください。	☞「6.13.6 システムエリア設定」(6-109 ページ)
何らかの要因で GP のシステムが壊れてしまった可能性があります。システムが壊れるとタッチが効かなくなってブザーが鳴り続ける場合があります。しばらくすると「システムエラー」が表示されます。(エラーが表示されない場合もあります。)	PLC との通信ケーブルを抜き、GP 本体の電源を ON/OFF します。それでも症状が直らない場合は、GP にプロジェクトファイルを強制セットアップで再送信してください。	☞「27.7.1 [転送設定] の設定ガイド」(27-37 ページ)

31.8 タッチが効かない

原因	処理方法	参照
バックライト切れ検出時のタッチパネル操作にて、「操作禁止」を選択している可能性があります。	オフライン設定の [システム設定]→[メニューとエラー設定]でタッチパネル操作を「操作可能」に設定してください。 また早急にバックライトの交換が必要です。	☞「ユーザーズマニュアル」
ハードウェアが故障している可能性があります。	オフライン設定の [メンテナンスメニュー]→[タッチパネルチェック]を実行してください。タッチ個所が反転表示しない場合はハードウェアの故障が考えられます。 お買い求めの代理店、または (株) デジタルサービスリペアセンター (06-6613-1638) までご連絡ください。	☞「ユーザーズマニュアル」
[インターロック機能] が有効になっていませんか？ タッチ入力検出できないため、タッチ音は鳴りません。	インターロックアドレスの設定を確認してください。	☞「11.7 誤動作を防止したい (インターロック)」(11-19 ページ)

31.9 画面が真っ暗 何も表示しない

原因	処理方法	参照
GP のシステムデータエリア内のバックライト OFF ビットが ON している可能性があります。	PLC 接続時はシステムデータエリア +14 の 00 ビット目、メモリリンク時は +11 の 00 ビット目を OFF してください。 ただし、LCD (液晶) は動作していますので、画面をタッチするとタッチ入力を受け付けられます。またバックライトを搭載していない機種では無効です。	☞「6.13.6 システムエリア設定」 (6-109 ページ)
GP のシステムデータエリア内の画面表示エリアになにかデータが格納されている可能性があります。 このアドレスに 0 が入ると画面表示、FFFF (Hex) が入ると画面が消えます。	0、FFFF 以外の値が格納された場合も、一定時間が経過すると自動的に画面表示が OFF します。 システムデータエリア +9 を 0 にしてください。	☞「6.13.6 システムエリア設定」 (6-109 ページ)
プロジェクトファイルにないベース画面が初期画面として設定されている可能性があります。	GP の初期画面番号の設定を変更し、実際に GP に転送し、存在している画面を設定してください。	☞「6.13.6 ■[本体設定]の設定ガイド」(6-90 ページ)
輝度・コントラストが低くなっている可能性があります。	輝度・コントラストの調整を行ってください。 (画面の左上→右上、または右上→左上(範囲は 40 ドット)の順に 0.5 秒以内にタッチすることで表示します)	☞「ユーザズマニュアル」
仕様に合った定格電圧が供給されていない可能性があります。	正しい定格電圧を供給してください。	☞「ユーザズマニュアル」

31.10 部品が表示されない

原因	処理方法	参照
PLC から意図していない情報が送られてきている可能性があります(設定と違う画面番号など)。	PLC 等を切り離し、GP 単体で電源を入れて確認してください。	—
オフラインが表示しない場合、電源が規定値でない可能性があります。	GP に供給している電源電圧を確認してください。	☞「ユーザズマニュアル」
プロジェクトファイルにないベース画面が初期画面として設定されている可能性があります。	GP の初期設定にて、初期画面番号が存在する画面番号になっているか確認してください。	☞「6.13.6 ■[本体設定]の設定ガイド表示設定」(6-90 ページ)
スタンバイモード、スタートタイム等が設定されている可能性があります。	[システム設定]→[本体設定]にてスタンバイモードを“無”に、スタートタイムを“0”秒に設定してください。	☞「6.13.6 ■[本体設定]の設定ガイド表示設定」(6-90 ページ)

次のページに続きます。

原因	処理方法	参照
モノクロ表示器にカラーの絵を転送している可能性があります。	[システム設定]→[機種設定]にて設定している本体機種と一致しているか確認してください。	☞「6.13.6 ■ [機種設定] の設定ガイド ■ [機種設定] の設定ガイド」(6-89 ページ)
PLC と通信が正しく行われていますか？ アドレス設定を行う部品の中には、PLC と通信が正しく行われていないと表示されないものがあります。 ¹	PLC と正しく通信を行ってください。	—

1 GP 電源投入時や画面切り替え時の部品の表示は、次のように行われます。

- 接続機器 (PLC など) を 1 台のみ設定している場合、接続機器との通信確認が完了するまで、すべての部品の表示や動作が行われません。(画面切り替えスイッチのみ動作は可能ですが、表示はされません)
ただし、画面上に接続機器のアドレスが割り付けられた部品が 1 つもない場合 (内部デバイスのみ使用している場合など) は、接続機器との通信確認を待たずに、すぐに表示されます。
- 複数の接続機器 (PLC など) を設定している場合、接続機器ごとに通信状態を確認し、通信できた接続機器のアドレスが割り付けられた部品から順に表示・動作が行われます。このとき、特殊スイッチや日付/時間表示器、キーボードなど、アドレス設定を行わない部品は、通信状態にかかわらず、すぐ表示されます。
また、画面上に接続機器のアドレスが割り付けられた部品が 1 つもない場合 (内部デバイスのみ使用している場合など) は、接続機器との通信確認を待たずに、すべての部品がすぐに表示されます。

31.11 PLC と通信しない

原因	処理方法	参照
PLC タイプの選択が間違っている可能性があります。	接続する PLC に合った PLC タイプを選択してください。	☞「6.13.6 ■ [接続機器設定] の設定ガイド」(6-114 ページ)
通信ケーブルが正しく接続されていない、または結線が間違っている可能性があります。	通信ケーブルを正しく配線し直しコネクタにしっかりと接続してください。	—
終端抵抗は正しく設定されているか	正しい位置に、正しい値で終端抵抗を設定し直してください。終端抵抗の位置や終端抵抗値は、PLC によって異なります。	—
通信に関する初期設定は正しいか	正しく設定し直してください。	☞「6.13.2 ■ 接続機器ドライバ設定」(6-67 ページ)